

## 平成31年度オープンレクチャー（調査・研究成果の公開）(シ08)

**目的** 文化財情報資料部の研究成果の一部を外部講師を交えて広く一般に公開する。

- 成果**
- 2019（令和元）年11月1日、2日の2日間にわたり、専門家はもとより広く一般からも聴講者を募集し、オープンレクチャー「かたちからの道、かたちへの道」を開催した。研究所内部より2名、外部より2名の講演を行った。それぞれの講演テーマは次の通りである。
    - ・米沢玲（文化財情報資料部研究員）「大徳寺伝来五百羅漢図と『禅苑清規』一描かれた僧院生活一」
    - ・原浩史（慶應義塾志木高等学校教諭）「広隆寺講堂阿弥陀如来坐像のかたちと込められた願いー願主「永原御息所」の人物像を起点としてー」
    - ・小林公治（文化財情報資料部広領域研究室長）「日本唯一の伝世洋剣、水口レイピアの調査と研究」
    - ・田中真奈子（昭和女子大学歴史文化学科）「Spring-8による刀剣研究最前線：制作技術の解明に向けて」
  - 外部からの聴講者は11月1日が96人、2日は55人の参加を得た。参加者からのアンケート結果では、11月1日の67名の回答者のうち、「大変満足した」と「おおむね満足だった」を合わせ88.8%、11月2日の52名の回答者のうち「大変満足した」と「おおむね満足だった」を合わせて90.4%の回答を得ることができた。



オープンレクチャーの様子

**研究組織** ○小林達朗、塩谷純、二神葉子、小林公治、江村知子、小野真由美、安永拓世、橘川英規、小田智寛、米沢玲、三島大暉、野城今日子（以上、文化財情報資料部）、山梨絵美子（副所長）